

(様式3)

令和4年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)	所在地	伊勢市二見町松下1335
指定管理者名	二見しょうぶロマンの森維持管理組合	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
設置目的	農村地域資源を活用し農村の活性化を図る。		
業務内容	・民話の駅蘇民の運営、維持管理。 ・地元の農産、水産等の活性化。 ・管理業務報告を随時市役所に報告している。 ・例年は、年2回総会を行っているが、コロナ対策により書面にて確認。		
施設概要	施設面積478㎡(事務所・研修室・調理室・売り場)		
職員体制	役員4名/駅長1人・事務員2人・パート10人/しょうぶ園園長1人・パート5人		
施設所管課名	農林水産課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	5,041,300	5,041,300	5,752,243	710,943
		利用料金				0
		その他	151,902,297	148,215,381	159,857,830	11,642,449
		計(a)	156,943,597	153,256,681	165,610,073	12,353,392
	支出	人件費	30,356,628	30,216,629	29,583,631	△ 632,998
		管理運営費	127,614,739	122,916,816	136,037,542	13,120,726
		その他				0
		計(b)	157,971,367	153,133,445	165,621,173	12,487,728
	収支差引額(a)-(b)		△ 1,027,770	123,236	△ 11,100	△ 134,336

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	水道光熱費の増加。人手不足により人件費減少。
----------------------------------	------------------------

3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
令和4年度の売上は、157,719,171円であった。前年度より11,176,892円の増加。光熱費の高騰、消耗品、原材料の値上げ、その他経費も軒並み値上がりしており、赤字になった。深刻な人手不足で、募集をしても人が集まらず、個々の負担が増加し、辞めていくと言う、悪循環に陥っている。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた管理を行っており、集客のためイベントなどの取り組みを差し控えた状況となっている。光熱水費の高騰など、経費負担が増加するなかで、経費節減に努め、少ない人員の中で運営されていることについては評価できる。今後も継続して利用者増加に向けての対策を検討し、サービス向上に努められたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	理解した上で運営を行っているが、不明な点は、都度市役所に連絡し、支持を受けた。	B	市の施設であり、基本方針に対する理解をより深めていただきたい。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	新型コロナウイルス対策の範囲内で行った。	B	新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、施設の設置目的に沿った取り組みに努められたい。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	前年度より利用者が増加。	A	前年度と比較し利用者が増加している。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	適正に行われた。	A	事業計画どおり運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	勤務表により職員の配置、公休は明確であり、急な人員の増減も速やかに対応した。	A	職員の配置等、適正であった。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	連絡は、十分行われていた。	A	連絡は密になされている。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	連絡は、十分行われていた。	A	管理記録等は整備・保管されている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	新型コロナウイルス対策の為、イベント等は、自粛し、ホワイトボード、張り紙等により情報を発信した。	B	継続して新型コロナウイルス感染症の影響下であり、地域住民等との交流は困難であったと思われる。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		研修室利用無		使用許可等の実績はない。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。		研修室利用無		研修室の使用に対する利用料金の徴収等がなかった。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	適正に管理している。	A	個人情報の管理等の取扱いは適正に行われている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	厳守している。	A	施設管理上、関係法令は遵守していると思われる。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(民話の駅蘇民)

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	しょうぶ、ハスのメディア等の告知を行った。	A	新型コロナウイルス感染症の関係もあり、可能な範囲で利用者数の増加の取り組みを行った。		
	②利用者の平等な利用	A	シフト交代時の引継ぎ、ホワイトボードのメモなどを利用して行った。	A	伝言メモにて情報共有を行い、利用者に対するサービス水準は確保されている。		
	③適切な情報提供	A	店内の張り紙等のお知らせで情報提供を行った。	A	HP等を活用し、情報発信している。		
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急避難時の防災マップを提示している。緊急マニュアルも作成済み。消防訓練も行った。		
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	適切に対応した。継続して出荷者より販売品荷受書の提出を求め、適切な管理を行っている。		
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	調理法、月の予定などを提示した。	A	個々の利用者ニーズには対応しているが、利用者ニーズに即した自主事業の内容を明確にしていく必要がある。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	管理業務報告書を作成し、市役所に提出し、月例役員会で協議した。	B	役員会等でも検討いただいているが、さらなる取り組みに努められたい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的メンテナンスをして、適切に管理している。安全面では、業者にも依頼している。	A	適正に管理されている。老朽化してきている設備については、保守点検等の計画にも取り組まれたい。		
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	適切に行われていた。	A	破損や紛失がなく適正に管理されている。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	保守点検、機械等の修理を業者に依頼した。	A	異常があった場合の市への報告は迅速であり、適切な措置を講じている。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	1日2回の清掃とその都度、汚れた場所の清掃、整理を行った。	A	こまめに清掃が行われていた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は、定められた場所に保管し、厳重に戸締りした。	A	鍵の管理は適正であり、防犯に関するトラブルは発生していない。